

令和 2 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

静岡県

行 事 名 称	文化財防火デーに伴う消火訓練
実施期間・日時	令和3年1月25日（月）午前9時～午前9時30分
実 施 場 所	重要文化財 三嶋大社本殿 （静岡県三島市）
主 催 者	三嶋大社、三島消防署、三島消防団第1分団・第2分団

■実施内容

訓練の想定

午前9時頃、三嶋大社本殿濡縁床下より火が上がっているのを、授与所勤務の巫女が発見する（発煙筒にて出火の合図をする）

訓練の内容

職員による火災発見、通報、初期消火（放水銃・消火栓・可搬式ポンプ）、本殿より御霊代の御動座（模擬）・貴重品の搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施
消防署・消防団による放水訓練を実施

参加者及び役割分担

三嶋大社職員（30名）：避難誘導班・消火班・本殿奉護班・情報収集伝達班の自衛消防組織による訓練
三島消防署（約20名）：救助隊、小隊による訓練。全体統括・放水訓練・講評
三島市消防団（約15名）：第1分団、第2分団による放水訓練
三島市教育委員会（1名）：現場立会

特に工夫した点

実際に火災が発生した時を想定し、境内全ての消火栓、防火貯水槽より水を供給し消火活動を実施
地元防災機器業者による消火器取扱い方法指導

問題点・課題

日頃より消防設備機器の使用方法を把握し、点検及び動作確認を定期的に行うこと。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消火訓練を実施しており、文化財を災害から守る防災意識の高揚を図ると共に、身のまわりの火気の取扱いについても注意する。

訓練風景



放水訓練